

ボランティア伝言板

・シリーズ1・自然環境編

森林を守り育てる

地球緑化センター 専務理事・事務局長 新田均さん(55歳)

日本列島の森林は荒廃していきまわります。私たちは、森林を守り育てるボランティアを広く募っています。山村に一年間住み込むフルタイムボランティアもあれば、週末を利用して下見回りなどをするボランティアもあります。同時に海外では、砂漠緑化のお手伝いを積極的に行っています。でも、こうした活動だけでは、森の再生は困難です。そこで、森林づくりのあり方をもうとまえて、今年二月、日本財団の支援を得て、第一回森林と市民を結ぶ全国協議会を開催しました。全国の市民グループや企業、行政関係者がはじめて一堂に会し、貴重な情報交換の場を持つことができました。これがいっしょになって、全国規模の新しい流れが生まれつつあります。



生活者の視点で「水」を考える

全国水環境交流会 事務局幹事 山道省三さん(46歳)



日本の水はいま危機的状況にあります。毎日、何気なく飲んでいる水道の水も、排水などで汚れた水を原水にしている所が多いのです。本来、自然が持っている水循環のシステムが失われ、目に見えないところで、水質の悪化が進んでいます。私たちは、飲み水だけでなく、河川や地下水など水環境を取り巻くさまざまなテーマについて、地域の市民グループと連携しながら、情報と人のネットワークづくりをしています。今年2月と3日の両日、日本財団の協賛で、「第四回水環境シンポジウム」を近畿で開催しました。行政、産業界、学会からの参加者も多く、私たちの活動にも厚みが増してきました。これからも生活者の視点に立って、水環境の改善に取り組んでいきたいと考えています。

私たちの手で傷ついた地球を治したい

日本財団はボランティア活動を応援しています

福祉をはじめ、環境・自然保護など、日々さまざまなボランティア活動に懸命に取り組むボランティア・グループの皆様になりたい。ボランティア活動にエールを贈ることで、より豊かであたたかい社会づくりのお役に立ちたい。私たちの「ボランティア活動支援事業」は、その願いからスタートしました。



就日本船舶振興会の通称です
<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

——いつでもお問い合わせください——

ボランティア支援部協力援助課
〒105 東京都港区虎ノ門1-15-16(船舶振興ビル)

FAX03-3580-6215

モーターボート競走の収益金の一部はボランティア活動支援事業にも役立てられています。